令和7年度　環境保全報告書

令和8年　6月22日

DM三井製糖株式会社　神戸工場

令和７年度環境保全に係る報告

１．　公害防止対策

（１）　水質目標値

（２）　大気目標値

２．　地球温暖化防止対策に係る計画

３．　公害防止対策以外の環境保全に係る計画

令和7年度環境保全に係る報告

1.公害防止対策

（1）水質に係る目標値について、測定結果。

項　　目	目 標 値	測定箇所（排水口）	測 定 値		測定回数	目標値超過回数	目標達成判定	法定基準値達成判定
			最 大	平 均				
水素イオン濃度（pH）	5.0以上 9.0以下	No.1	8.8	8.3	146	0	○	○
		No.2	8.8	8.1	146	0	○	○
化学的酸素要求量（COD）	25	No.1	4.0	2.2	146	0	○	○
		No.2	5.0	2.4	146	0	○	○
浮遊物質（SS）	50	No.1	40.3	11.1	76	0	○	○
		No.2	19.1	8.6	76	0	○	○
ノルマルヘキサン抽出物質（鉱油類含有量）①	5	No.1	＜0.5	＜0.5	2	0	○	○
		No.2	＜0.5	＜0.5	2	0	○	○
窒素含有量①	20	No.1	0.67	0.54	2	0	○	○
		No.2	0.63	0.47	2	0	○	○
燐含有量①	3	No.1	0.083	0.061	2	0	○	○
		No.2	0.061	0.047	2	0	○	○

※①　6ヶ月間に1回以上の測定（外部分析による）

※弊社神戸工場で使用する広域水域への排出水は間接冷却水。

※間接冷却水以外の排水（汚水）は、甲南ユーテイリテイ㈱にて委託処理。

(2)大 気 に係る目標値について、測定結果。

項目	基準値	備　考	
		測定日	結果
ばいじん　　O_2換算濃度 16% JIS Z 8808 円形ろ紙法	0.5g/Nm³以下	2025/7/11	0.016g/Nm³
		2026/2/13	0.018g/Nm³
硫黄酸化物 JIS K 0103 ｲｵﾝｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法	1.68m³N/h以下	2025/7/11	0.0025m³N/h未満
		2026/2/13	0.0067m³N/h未満
窒素酸化物　　O_2換算濃度 16% JIS K 0104 化学発行法	230ppm以下	2025/7/11	15ppm
		2026/2/13	16ppm

2. 地球温暖化防止対策に係る計画に対する結果。

分　　野	項　　目	目　　標	実施状況
①二酸化炭素の削減対策	マイカー(四輪)通勤の抑制	完全許可制を継続	維持
	二輪車通勤の許可制	完全許可制を継続	維持
	アイドリング禁止の啓蒙	啓蒙活動の実施	実施
	社有車にエコカー導入	社有車更新時に検討	HV車2台所有
	ノー残業デーの設定	1回／月	実施
	オフィスの電力使用抑制	ｸｰﾙﾋﾞｽﾞ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ実施	実施
②二酸化炭素以外の温室効果ガスの削減対策	該当なし	該当なし	―
③その他地球温暖化防止に寄与する対策	省エネルギーの推進	省エネ技術の調査検討	検討中
④従業員教育	ISO14001内部監査研修	延べ人数 1人／年間	実施
	社内報等での啓発	社内報 1回／年 ポスターの掲示	社内報 1回/年 ポスターの掲示

DM三井製糖神戸工場　CO2排出量（原単位）2015年度比　6%以上削減

2015年度　排出量(原単位　実績値)　0.217t－CO2/RST

2025年度　排出量(原単位　目標値)　0.204t－CO2/RST

2025年度　排出量(原単位　実績値)　0.094t－CO2/RST

DM三井製糖神戸工場　事業活動による環境への負荷量

2025年度　電力原単位目標値　対2024年度比　▲1%以上

2024年度(実績)20.75GWh　2025年度(実績)21.46GWh ⇒ 3.3%　未達

2025年度　蒸気原単位目標値　対2024年度比　▲1%以上

2024年度(実績)177,989t　2025年度(実績)182,872t ⇒ 2.7%　未達

エネルギーの使用量:　9,350kL／年（原油換算量）

特定物質排出状況（兵庫県環境の保全と創造に関する条例）より

特定物質排出量　（　2025年度）　（二酸化炭素換算　t-CO_2）

活動の区分＼特定物質	二酸化炭　素	メタン	一酸化二窒素	HFC	PFC	六ふっ化硫黄	合計
1.1　燃料の使用	1,838						1,838
1.2　電気事業者から供給された電気の使用	8,906						8,906
1.3　熱供給事業者から供給された熱の使用	5,334						5,334
合　　計	16,078						16,078

特定物質排出抑制措置の結果及び評価（兵庫県環境の保全と創造に関する条例）より

(1)　排出抑制目標

（単位：t － CO_2（CO_2換算量））

基準年度（実績）（2013年度）	現況（実績）（2025年度）	目標年度（計画）（2030年度）
46,398.0	16,078	28,198.0
－	対基準年度比 65.3%削減	対基準年度比 39.2%削減

3.公害防止対策以外の環境保全に係る計画に対する結果

分　　野	項　　目	目　　標	実施状況
① 再生可能エネルギー導入の推進及び省エネルギー、省資源の推進	使用する燃料・電力のエネルギー使用量削減	使用蒸気の原油換算燃料量 2024 年度比 1%削減	▲2.7%
		使用電力量減 2024 年度比 1%削減	▲3.3%
		計装エアー配管・バルブメンテナンス励行	実施
		休憩時　消灯の励行	実施
	太陽光発電設備の稼働	安定稼働	実施
	蒸気熱効率の維持	ドレントラップ・配管保温メンテナンス励行	実施
②自動車対策	クリーンエネルギー自動車の導入（電気自動車・燃料自動車、ハイブリッド車等）	更新時検討	HV 車2台所有
	フォークリフトの電動化	更新時随時	維持
③プラスチックに係る資源循環等の推進	排出されるプラ（包装ポリ袋等）のリサイクル	委託処理場にて RPF（固形燃料）としてリサイクル	実施
④廃棄物の適正処理と減量、リサイクル	廃棄物の再資源化率向上	再資源化率　98%	98.6%
	ろ過ケーキの有効活用	再利用率　100%	100%
	コピー用紙等の使用削減	2024 年度以下	3000枚減
	備品等のグリーン購入の実施	購入費ベース 2024 年度以上	87%
	古紙トイレットペーパーの購入	購入率 100%	100%
	可燃物、不燃物、空き缶、再生紙等の分別回収	廃棄物毎の分別	実施
	コピー用紙に再生紙購入	購入率 100%	実施
	プリンターカートリッジ再利用	再利用率 100%	100%
⑤包装の合理化	過剰包装材料の削減	現状継続	継続
⑥物流の合理化	混載配送の方面別の配送	可能な限り実施	実施
	配送時のロットを増やす	可能な限り実施	実施
⑦環境に配慮した施設・設備の導入	省電力電灯の購入	可能な限り実施	実施
⑧従業員教育の実施	ECO 検定受験促進	受験者 3 名/年	4 名
⑨地域における環境保全 活動への参画	工場周辺の清掃活動	1 回／月	実施